

「知」の集積と活用の場によるイノベーション創出推進事業 【5, 598（5, 145）百万円】

対策のポイント

農林水産・食品分野におけるイノベーションを創出するため、様々な分野の多様な知識・技術等を結集した研究開発を重点的に推進する提案公募型研究を実施します。

<背景／課題>

- ・我が国の農林水産・食品産業の競争力を強化し飛躍的に成長させていくためには、従来の常識を覆す革新的な技術・商品・サービスを生み出す研究開発が必要です。
- ・このため、様々な分野のアイデア・技術等を導入した産学官連携研究を促進するオープンイノベーションの場として、『「知」の集積と活用の場』を創設し、イノベーション創出に向けた環境を整備したところです。
- ・今後の提案公募型の研究開発は、革新性をより高めてイノベーションの創出を目指す観点から、『「知」の集積と活用の場』による取組を重点的に推進します。

政策目標

- 基礎研究ステージ及び応用研究ステージにおける実施課題の70%以上において、革新的な技術成果や実用化につながる技術成果を創出。
- 開発研究ステージにおける実施課題の80%以上において、商品化・事業化が有望な研究成果を創出。

<主な内容>

1. イノベーション創出強化研究推進事業

基礎段階から実用化段階の提案公募型研究において、従来の常識を覆す革新的な技術・商品・サービスを生み出していくイノベーションの創出に向け、『「知」の集積と活用の場』による研究開発を重点的に推進します。

補助率：定額
事業実施主体：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

2. 「知」の集積による産学連携推進事業

「知」の集積と活用の場における産学官連携協議会の運営や、研究開発プラットフォームの研究戦略・知財戦略の策定等を支援します。

委託費
委託先：民間団体等

お問い合わせ先：
技術会議事務局研究推進課産学連携室（03-6744-7044）

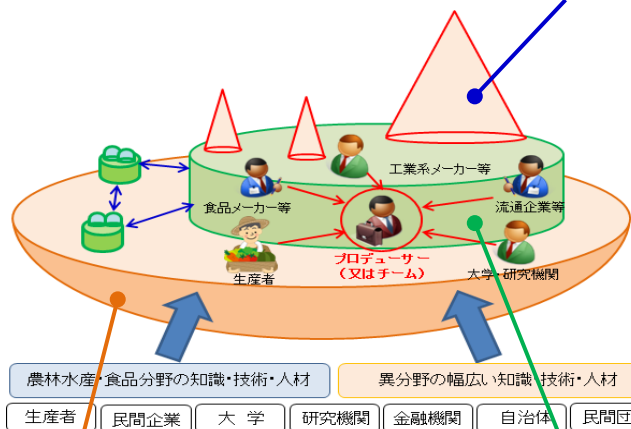
「知」の集積と活用によるイノベーション創出推進事業

- 我が国の農林水産・食品産業の競争力を強化するためには、従来の常識を覆す革新的な技術・商品・サービスを生み出すイノベーションの創出が必要。
- 農林水産省では、イノベーションを効果的に創出するため、**様々な分野の多様な知識・技術等を導入する新たな産学連携研究の仕組み**として、平成28年4月から「知」の集積と活用の中を構築し、**オープンイノベーションの環境を整備**。
- この「知」の集積と活用の中を活用し、**イノベーションに繋がる研究成果の創出を推進**。

「知」の集積と活用の中 (新たなオープンイノベーションの仕組み)

③ 研究コンソーシアム

研究開発プラットフォームの戦略に基づき、**商品化・事業化につながる革新的な技術開発を実施**



② 研究開発プラットフォーム

プロデューサー (又はチーム) を中心とし、**新産業の創出につながる研究開発を実施するための戦略を作成**

58の研究開発プラットフォームが設立
(平成29年8月31日現在)

① 産学官連携協議会

多様な会員が集まり、会員の相互交流を通じて研究開発プラットフォームの形成を促進

農林水産・食品産業のほか、化学、医学、情報工学等様々な分野から**1,700超の会員が入会**(平成29年8月31日現在)

「知」の集積と活用の中によるイノベーション創出推進事業

イノベーション創出強化研究推進事業

イノベーション創出を重点的に強化する提案公募型の研究開発事業

- ・「知」の集積と活用の中の研究コンソーシアムから提案される研究課題については、優先採択するとともに、研究費・研究期間を拡充
- ・研究ステージに応じた支援

「知」の集積による産学連携推進事業

イノベーション創出に向け、「知」の集積と活用の中を取組及び研究成果の普及を加速化するための各種支援

- ・セミナー開催等の協議会運営に対する支援
- ・研究開発プラットフォームにおける戦略づくり等への支援
- ・全国に配置するコーディネーターによる、ニーズ・シーズの収集やマッチングの支援等

イノベーション創出に向けた研究開発の推進

「知」の集積と活用の中づくりの推進

「知」の集積と活用の中を核としたイノベーションの創出

農林水産・食品産業の競争力強化、成長産業化